

## 巻頭言

# 祝 新 春

惣津 律士

有畜農家の皆さん。明けましてお目出とう存じます。

昨年も本県の稲作は平年作にめぐまれて、畜産界もずっと向上の線に添って1ヶ年を経過して参った事は何より幸いでした。

「光陰矢の如し」と古くから言われていますが、1ヶ年の歳月は実に早いものです。特に最近のように畜産の占める分野が広がりますと、その感を深くするのは私一人ではありますまい。

そのように早い一年ではありましたが、静かに回顧すると、有意義な歩みを続けた事がはっきりと了解出来ます。

世界の情勢を見ても、科学の歩みを見ても、個人の生活を見ても、大きい変化がうかがわれますが、その孰れの場合でも人類永遠の平和と幸福を目ざしての努力と進歩の跡が見られるのであります。

私共畜産人は一生懸命に岡山畜産の発達を願って努力して参りました。中国連合畜産共進会に於ても各人の力を結集して、本県畜産の名誉をかけて頑張りました。各人夫々が己の責任を果すために努力している犠牲的精神は実に尊いものがあります。私は昨年の畜産の歩みを想うにあたり、この尊い流れを確認し、本年もこの精神の結合力に依って問題を解決して行きたいと願って居ります。

昨年農地経済部に於て岡山県農業施策基本要領が制定されまして、「地域の条件に適応した生産性の高い有畜組織農業への推進」がその内の重要課題として取り上げられ、農業施策はあげてその実現に乗り出す事となって居ります。そして又「技術と経済との結びつきに検討を加えた科学的技術の研究と普及を図る」ことも強調されています。

御承知の通りに昨年農林事務所の設置に依って畜産指導体制が一応確立しましたし、従来の種畜場が試験研究機関に発展しまして、上の課題に対処する事になって居ります。

更に生産物流通対策の強化としては家畜取引法の施行、沖縄を含む東南アジアへの種畜種禽の輸出が昨年から引続き本県の重要畜産施策となって居ります。さきに大阪経済事務所に畜産職員を派遣し、着々成果をあげつつある事は皆さん御存知の通りであります。私は本年も皆さんと手をたずさえて、近代的畜産の確立にうんと頑張りたいと思つて居ります。皆さんの御自愛を祈上げます。